

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成27年度採択）

中間評価結果（公表用／ハード分野）

番号	研究名	研究代表者	評価
27-3	沢埋め道路盛土の経済的な耐震診断と耐震補強の開発	神戸大学 教授 澁谷 啓	B

<研究の概要>

沢埋めの古い道路盛土における災害が依然として多く、また、それらが被災した場合の影響は非常に大きく復旧にも多大な時間を要することになる。本委託研究は、このような被災事例が多い沢埋めの道路盛土を対象に、物理探査と簡易なサウンディングの組合せによる合理的な耐震診断法と、土のう構造体を用いたのり先補強による経済的な耐震補強工を開発するものである。

<中間評価>

研究の進捗状況は概ね順調であり、研究成果の見通しがある程度期待できることから、指摘事項に留意しつつ、現行の通り推進することが妥当と評価する。なお、最終年度は現場実務への適用の見通しが明らかになるように研究を進めていただきたい。

<今後の研究計画・方法への指摘事項>

1. 補強構造の地山を含めた全体挙動の理解・論理的説明と、その実験による確認が必要である。
2. 実用化に向けては、側方土圧の影響の評価についても検討が必要である。
3. 経済的な耐震診断と耐震補強の開発が目的であることから、コスト面の評価を実施していただきたい。
4. 耐震性能診断については、例えば管理する道路の全盛土からどのように対象を抽出し、詳細調査まで絞り込むのかをより明確にする必要がある。
5. 予算の精査による研究の効率化が必要である。

※本中間評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第31回新道路技術会議において審議したものである。